

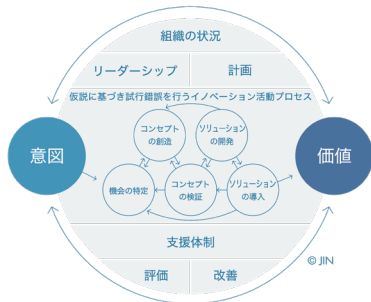
# IMS Acceleration Program

## IMSAPスタジオ短期集中講義

IMS (ISO56000シリーズ) の基礎を学ぶ2日間

2026年3月5, 6日開講!!

### 「個のひらめき」から「組織能力としてのイノベーション」時代へ



### イノベーション・マネジメントシステム (IMS) とは？

「本業を持つ組織からイノベーションが興しづらい」のは、世界共通の課題です。ISO56002 (2019年)に加え、最新のISO56001 (2024年)が誕生した今、「オペレーション中心の古いマネジメントシステムの刷新」が不可欠となっています。本プログラムは、日本を代表して国際規格作りに貢献してきたJINだからこそ提供できる、「2日間・超集中型」のIMS導入準備プログラムです。

### IMSAPスタジオ短期集中講義の提供価値

最新のイノベーション経営を学習し、実践に向けた準備を進めます。IMSの在り方を学習・議論することで、IMS導入・実践する力・考え方を学びます。



#### 最先端の知を習得

規格の背景や意図を理解し、自社流に使いこなすため示唆を獲得



#### 変革のコアを形成

個人もしくは複数名で参加し、IMS導入・実践をリードする「変革のコア」となるチームを形成



#### IMS導入計画準備

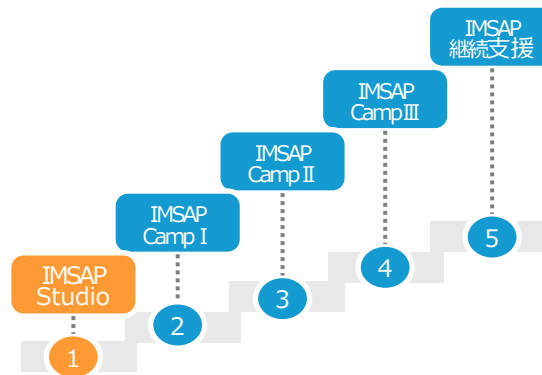
IMSの簡易アセスメントで現状分析を行い、IMS導入・実践に向けたロードマップを描く

### 本プログラムを勧める企業

- ・イノベーションに取り組んでいるが、目立った成果が出ない
- ・既存事業で手いっぱい、イノベーションの必要性は痛感しているが、どう進めて良いのかが分からない
- ・新事業創出なくして、中期経営計画の達成は覚束ない
- ・次年度 (4月) に向け、イノベーション推進人材の育成が急務
- ・短期間で組織内に、イノベーションの共通言語を構築したい

### 過去の受講者様の声 (IMSAPスタジオ実績)

- ・「IMS導入、イノベーション創出の第一歩として、非常に優れた体系だった」
- ・「IMSを知ること、イノベーション推進の筋道を明確にすることができた。組織に何が不足し、何を獲得すればよいのかに気付くことができた」
- ・「業界が違って、イノベーションへの悩みは共通だと分かった」
- ・「日本におけるIMSの第一人者から直接指導を受けられる貴重な機会だった」



※日本を代表して国際規格作りに貢献してきたJINだからこそ提供できる独自のIMS教育・導入プログラムです。

#### 価格 (税別)

1名 : 40万円	2名 : 70万円
3名 : 100万円	4名 : 120万円

# スタジオ短期集中講義 スケジュール



## 事前課題

解説本を読んで  
IMSの簡易自己診断



## 講義

× 専門家による講義で  
深い理解と自社導入のヒント



## 当日ワーク

× 学習を踏まえた当日の振り返りと  
導入に向けたロードマップ作成

3/5 (木) Day 1	プログラム (IMSの本質を掴み、組織の現状を可視化)	実践ワーク (自社導入デザイン)
10:00-	<b>オープニング</b> 研修の目的共有、参加者同士の自己紹介	・参加目的の明確化 この2日間で自社の何を解決したいかを整理
10:20-	<b>IMSの全体像</b> イノベーションの定義、なぜ今「仕組み (IMS)」が必要か	・外部環境の確認 自社を取巻く変化と変革の必要性の再認識
11:00-	<b>IMSの原則</b> 組織を成功に導く8つのプリンシプル (原則)	・原則の照らし合わせ 自社の文化に足りない原則は何かを特定
12:30-	<b>組織の状況 (簡条4)</b> 内部・外部の課題特定と、IMSの適用範囲の決定	・現状可視化 自社の強みと弱みの棚卸し
13:45	<b>リーダーシップ (簡条5)</b> トップの関与、ビジョン・戦略の策定、役割の定義	・コミットメント設計 役員をどう巻き込み誰を味方につけるのか
15:15	<b>計画 (簡条6)</b> 機会とリスクへの対応、イノベーション目的の設定	・目的設定 自社が目指すイノベーションの目標を設定
16:30	<b>支援体制 (簡条7)</b> リソース (人,モノ,金) の投入、インフラ、文化	・リソースの特定 活動を阻害している支援の不足を特定
17:45	<b>1日目の振り返り</b> 質疑応答と明日の予告	・Day 1 総括 初日の学びを自社の課題にどう接続するか
3/6 (金) Day 2	プログラム (実践プロセス設計と導入ロードマップの完成)	実践ワーク (自社導入デザイン)
9:00-	<b>Day1リフレクション</b> 前日の振り返りと追加の質疑応答	・思考の整理 自社導入への新たな懸念と期待を整理
9:30-	<b>IMSの事例紹介と認証について</b> 国内・海外の実践事例、最新の認証 (ISO 56001) 動向	・ベンチマーク 他社事例から自社に活用できる点を抽出
10:30-	<b>活動 (簡条8)</b> 機会特定からコンセプト検証、導入までのプロセス	・プロセス設計 自社におけるアイデアの磨き方の標準化
13:00-	<b>パフォーマンス評価と改善 (簡条9,10)</b> 活動の測定、内部監査、マネジメントレビュー	・KPIおよび評価設定 成果をどう測り、どう改善するのかを設計
14:30	<b>IMS導入ロードマップを作成</b> 2日間の学びを統合。自社導入の具体的な実行計画	・ロードマップの設計 明日から誰に何をどの順で伝えるかを確定
15:30	<b>修了発表・ラップアップ</b> 各社のロードマップ共有と全体総括	・決意表明 組織の火付け役としての最初の一步を共有

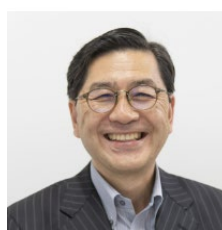
## 講師陣



**仙石 太郎**  
代表理事



**松本 毅**  
常務理事  
IMSエバンジェリスト



**真野 毅**  
理事  
ISO国内審議委員



**尾崎 弘之**  
ディレクター  
ISO国際交渉担当

お問い合わせ・お申込みはこちらから

✉ [ims@ji-network.org](mailto:ims@ji-network.org)

一般社団法人 Japan Innovation Network  
〒105-0004 東京都港区新橋1-1-13  
アーバンネット内幸町ビル 3階 CROSSCOOP内  
TEL: 03-5510-7188  
<https://ji-network.org/>

